

2009年2月期 決算説明資料

For Year Ended February 28,2009

2009年4月9日



株式会社 **UCS**

UCS CO.,LTD.

JASDAQ

Listed Company 8787



目次

I 2009年2月期営業概況

1. 主要数値実績	3ページ
2. 主要財務数値	4ページ
3. 財務ハイライト	5ページ
4. 部門別業績	6ページ
5. カード会員数と稼働率	7ページ
6. ショッピング取扱高	8ページ
7. ショッピングリボ、分割払いの取扱高・残高	9ページ
8. 融資取扱高・残高	10ページ
9. 保険・リース・マーケティング事業	11ページ
10. 貸倒および利息返還損失の対応状況	12ページ
11. 資金調達	13ページ

II 2010年2月期の取り組み

1. カード事業（稼働率と請求単価の向上）	15ページ
2. カード事業（ショッピングリボ・分割払いの拡大）	16ページ
3. 融資事業と貸金業法への対応	17ページ
4. その他事業の重点項目	18ページ
5. コスト構造改革	19ページ
6. 2010年2月期業績予想	20ページ

I 2009年2月期事業概況

(2008/3/1～2009/2/28)

1. 主要数値実績

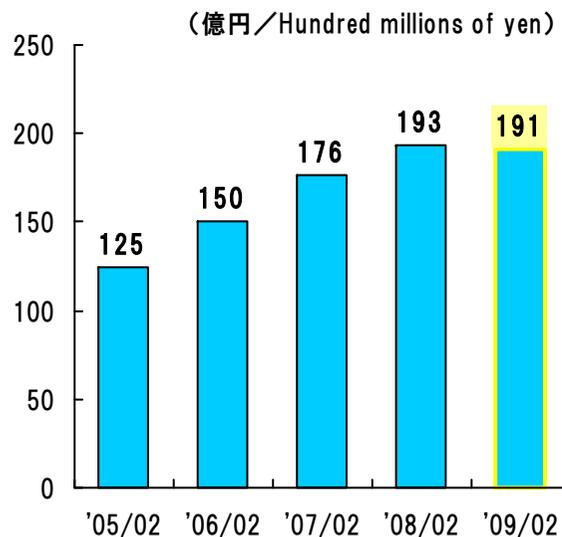
	前期	当期		前期比増減
営業収益 Operating revenues	19,329百万円	19,182百万円	➡	▲147百万円 (0.8%減)
営業利益 Operating income	2,781百万円	2,419百万円	➡	▲362百万円 (13.0%減)
経常利益 Ordinary income	2,792百万円	2,428百万円	➡	▲364百万円 (13.0%減)
当期純利益 Net income	1,745百万円	1,437百万円	➡	▲308百万円 (17.6%減)
1株あたり 当期純利益 Net income per share	92.82円	76.45円	➡	▲16.37円

2. 主要財務数値

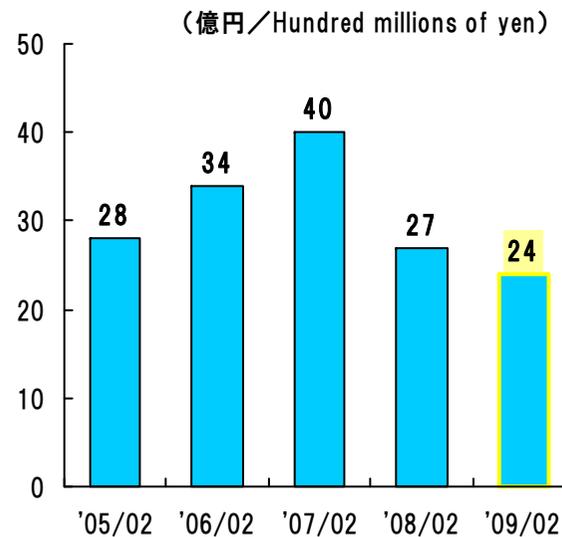
	前期	当期		増減
資本金 Common stock	1,610百万円	1,610百万円	➡	増減なし
総資産 Total assets	114,974百万円	111,910百万円	➡	▲30億円 2.7%減
純資産 Total shareholders' equity	14,234百万円	15,388百万円	➡	11億円 8.1%増
自己資本比率 Shareholders' equity ratio	12.4%	13.8%	➡	1.4%増
1株あたり純資産 Shareholders' equity per share	756.84円	818.20円	➡	61.36円増

3. 財務ハイライト

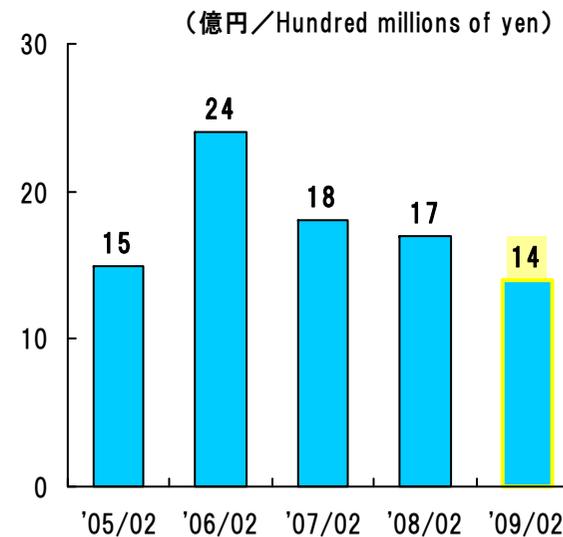
営業収益



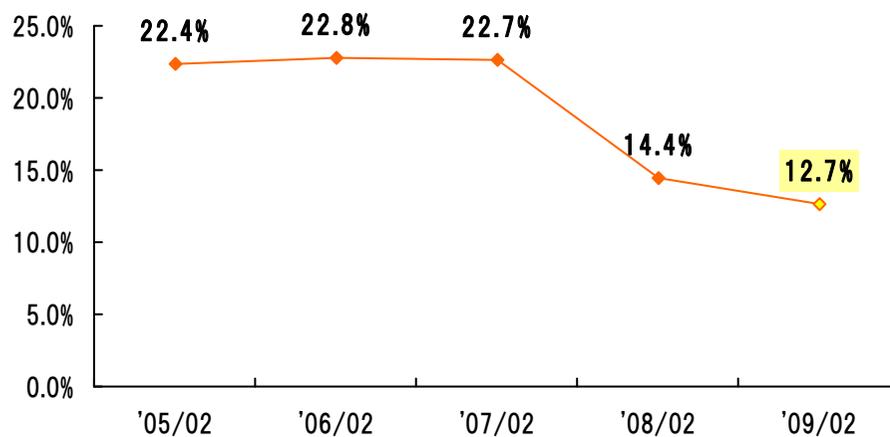
経常利益



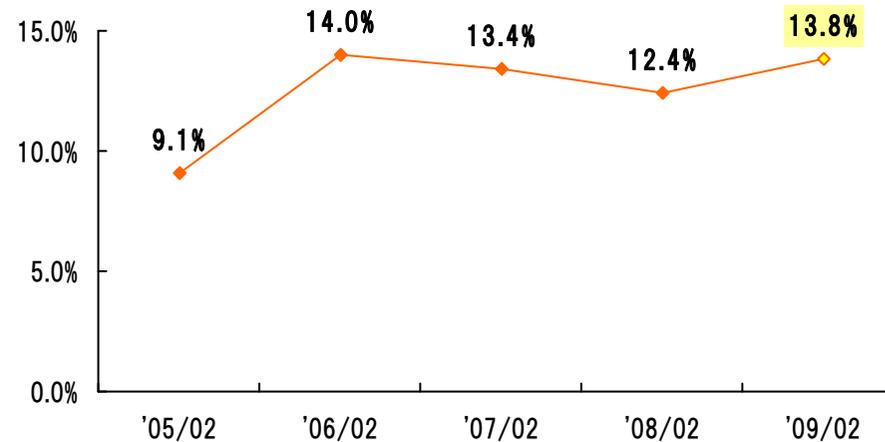
当期純利益



経常利益率



自己資本比率

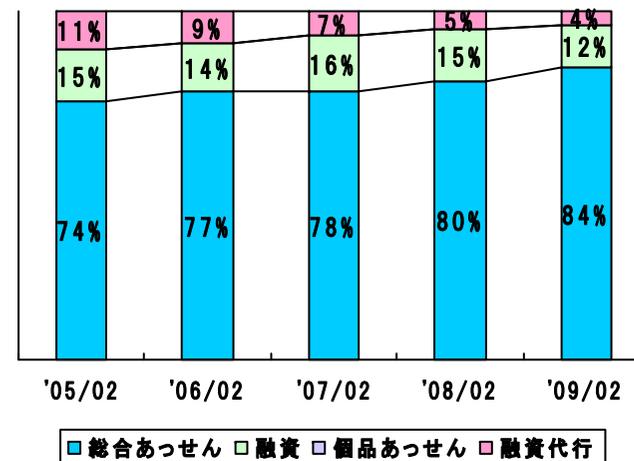


4. 部門別業績

取扱高 Trading volume

(単位：百万円/Millions of yen)

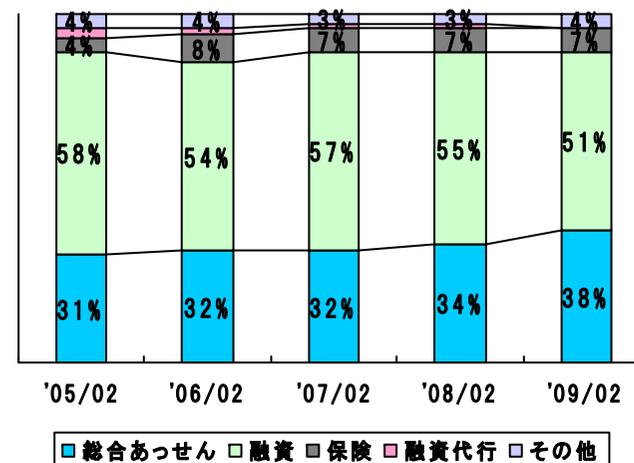
	2008/02	2009/02	前期比増減率
総合あっせん Creditcard shopping	306,499	339,964	10.9%
融資 Loans	56,615	48,117	-15.0%
個品あっせん Shoppingloans	124	81	-34.4%
融資代行 Service fee	18,445	14,246	-22.8%
合計 Total trading volume	381,685	402,409	5.4%



営業収益 Operating revenues

(単位：百万円/Millions of yen)

部門	2008/02	2009/02	前期比増減率
総合あっせん Creditcard shopping	6,533	7,251	11.0%
融資 Loans	10,727	9,730	-9.3%
融資代行 Service fee	196	150	-23.4%
保険 Insurance agent profit	1,250	1,289	3.1%
その他 Others	620	760	22.4%
合計 Total Operating revenues	19,329	19,182	-0.8%



5. カード会員数と稼働率

【カード会員数】 **333.9万人** (前期比19.5万人純増)

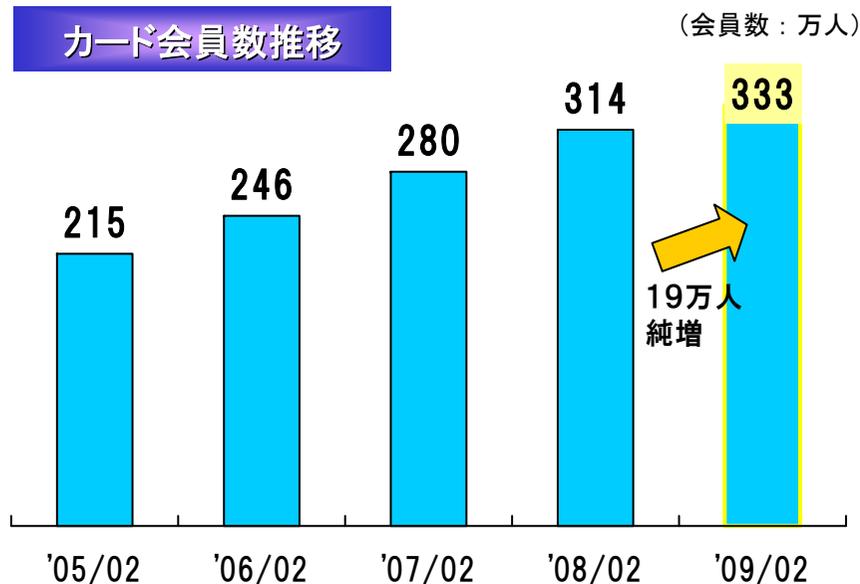
- 新規会員募集 34.3万人 (前期47.4万人)
- カード発行者数 30.8万人 (前期42.4万人)
- 退会者数 11.5万人 (前期9.1万人)

【稼働率】 月間 **33.8%** / 年間 **54.9%**

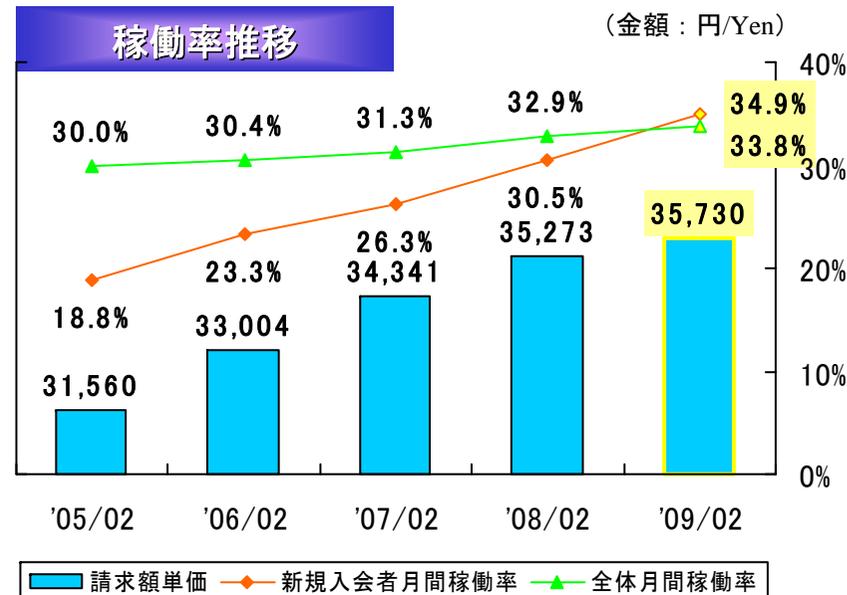
- 新規入会者月間稼働率 34.9% (前期比4.4%増)
- 月間請求額 35,730円

稼働会員獲得に向けた取り組みにより、新規入会者稼働率が全体月間稼働率を1.1%上回る。

カード会員数推移



稼働率推移



6. ショッピング取扱高

【取扱高】 **3,399億円**（前期比増減率10.9%増）

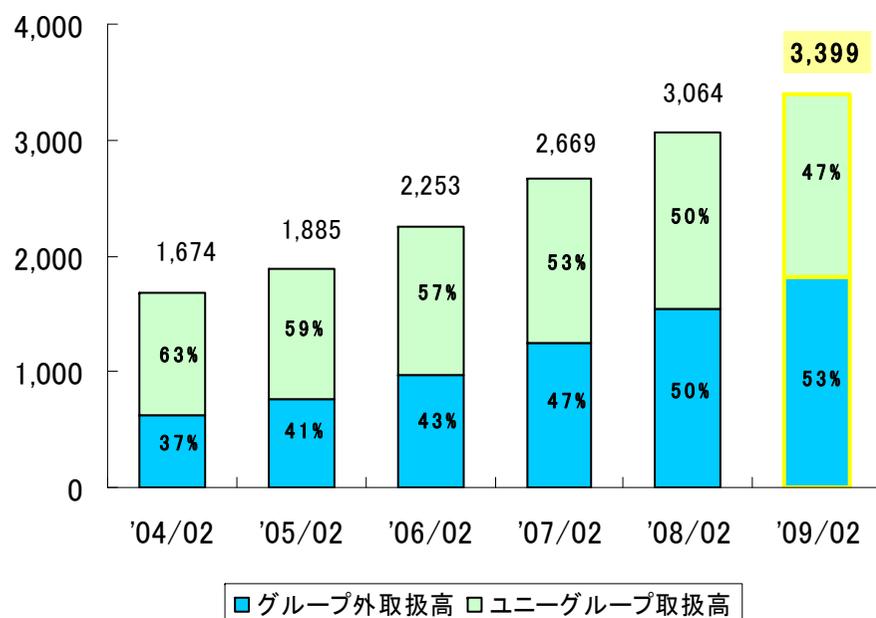
ユニーグループ内 1,585億円（前期比増減率 4.0%増）

ユニーグループ外 1,814億円（前期比増減率17.8%増）

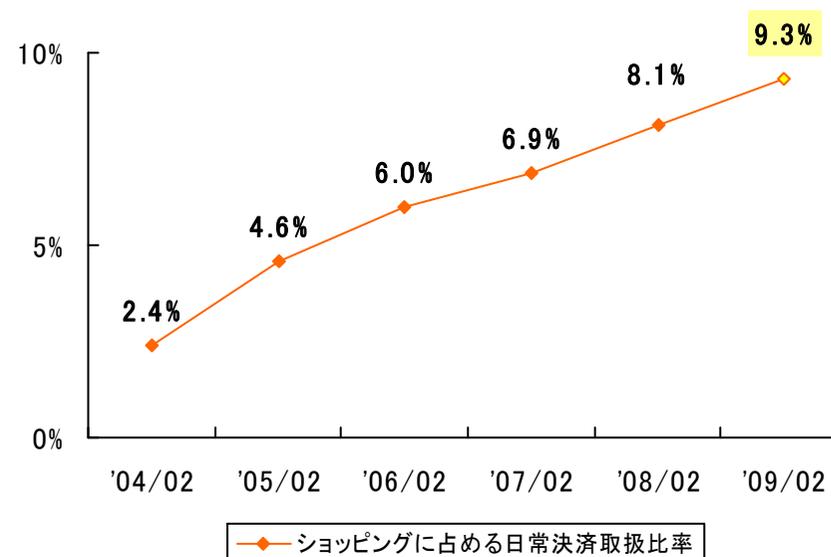
消費低迷のなか取扱高の伸びは鈍化するものの、グループ外取扱高ではE T C、日常決済を中心に堅調に推移。

ショッピング取扱高の推移

（金額：億円/Hundred millions of yen）



日常決済領域

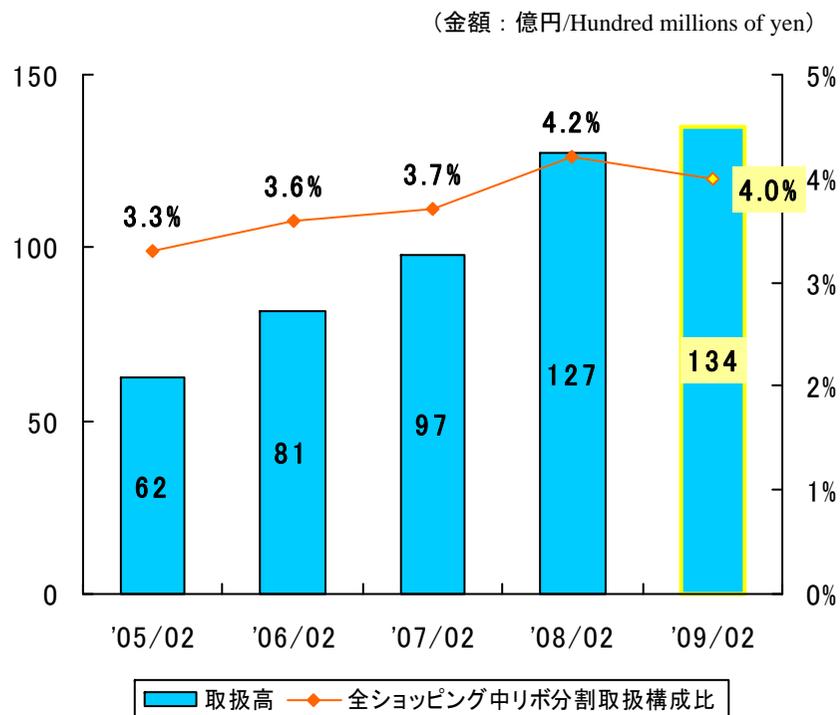


7. ショッピングリボ、分割払いの取扱高・残高

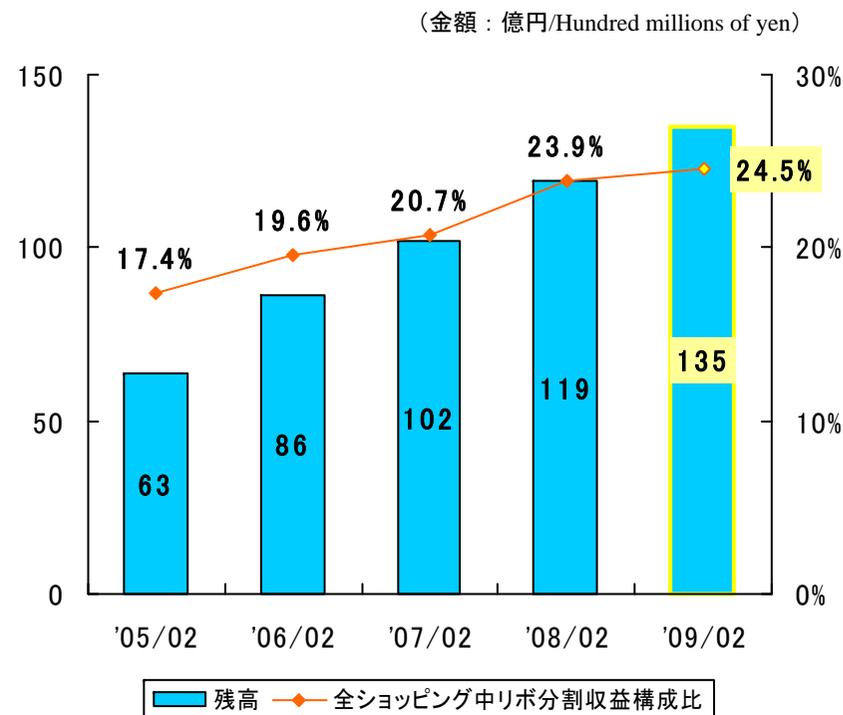
【取扱高】	134.9億円	(前期比増減率 5.8%増)
【残高】	135.1億円	(前期比増減率 13.3%増)
【営業収益】	17.7億円	(前期比増減率 13.8%増)

総合割賦（分割払い）の取扱開始で、取扱高・残高・収益とも堅調に推移。
総合あっせん収益に占める残高商品の収益も24.5%まで上昇し、大きな収益源に成長。

リボ分割取扱高・取扱比率



残高・収益構成

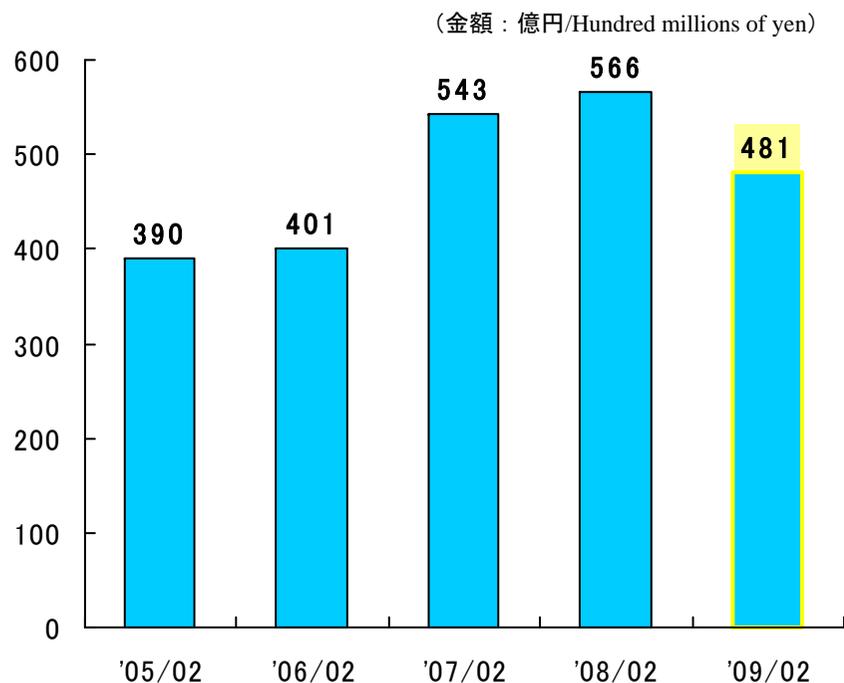


8. 融資取扱高・残高

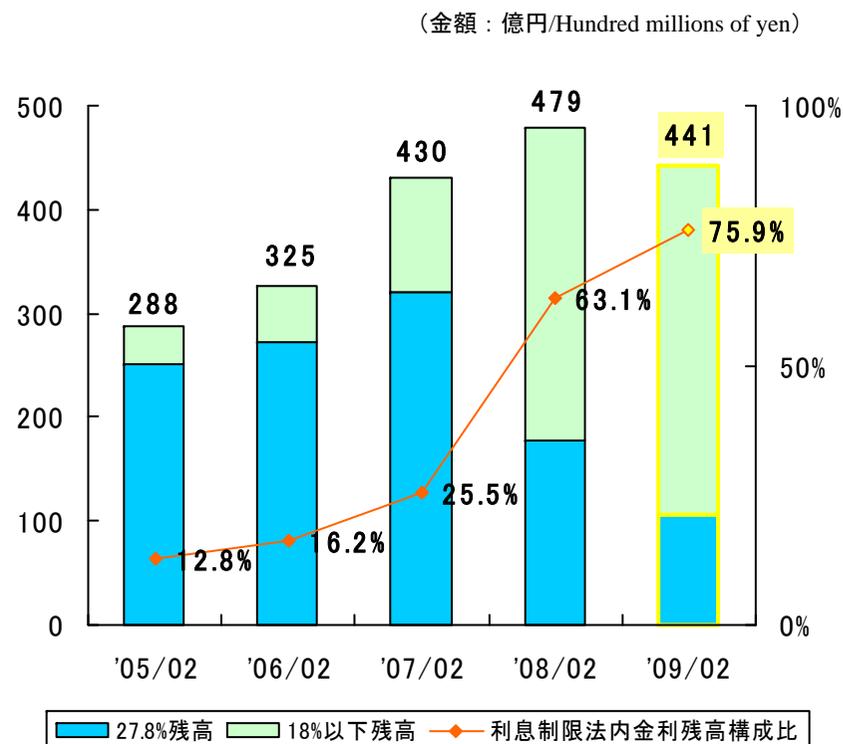
【取扱高】	481億円	(前期比増減率 15.0%減)
【残高】	441億円	(前期比増減率 7.9%減)
【営業収益】	97億円	(前期比増減率 9.3%減)

総量規制を見据えた与信の厳格化により、取扱高および残高が減少。
利息制限法内の残高構成比が75.9%まで移行完了。

融資取扱高推移



融資残高推移



9. その他の金融・サービス事業

【営業収益】 **14.8億円**（前期比増減率1.1%増）

- ・ 保険ショップを新規に1店舗オープンし、累計31店舗展開。
- ・ カード会員向けのテレマーケティングが着実に増加しており、保険収益拡大に貢献。
- ・ 旅行は燃油サーチャージの影響を受け、海外旅行の取り扱いが減少。
- ・ 車両リースは堅調に収益増加。

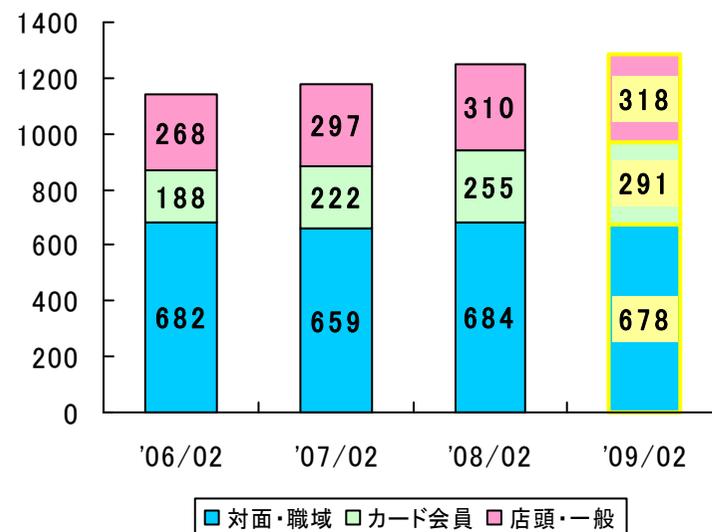
その他事業営業収益

（金額：百万円/Millions of yen）

事業別	2008/02	2009/02	前年増減率
保険	1,250	1,289	3.1%
旅行	83	68	-17.8%
通信販売	35	7	-78.7%
リース	98	118	20.2%
合計	1,467	1,483	1.1%

チャネル別保険営業推移

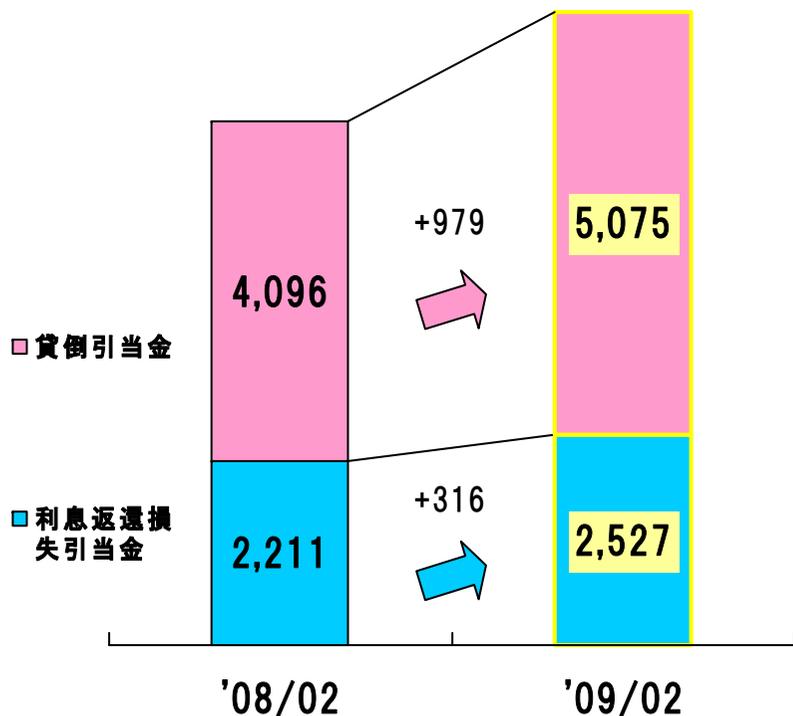
（金額：百万円/Millions of yen）



10. 貸倒および利息返還損失の対応状況

BS引当金残高

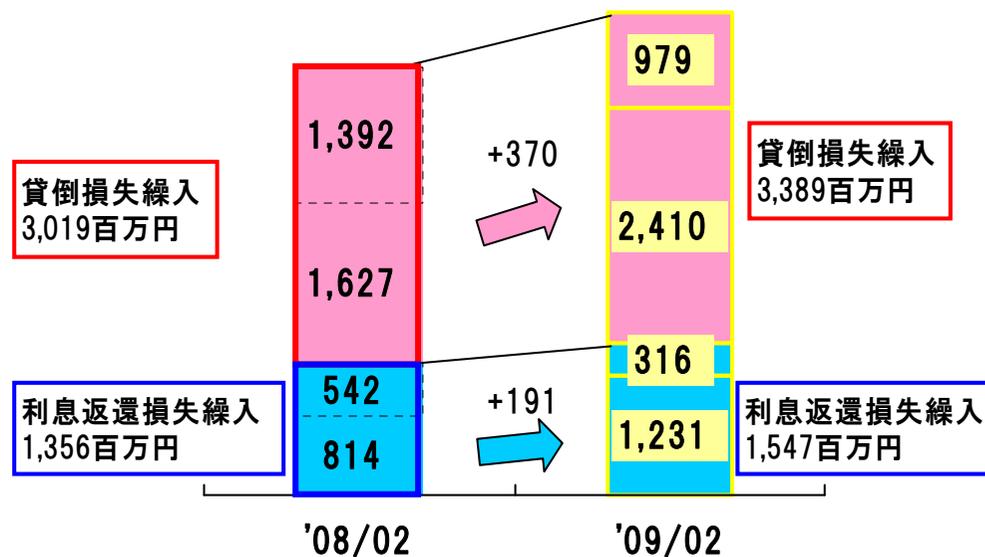
(金額: 百万円/Millions of yen)



	2008/02	2009/02	前期比増減額
貸倒引当金	4,096	5,075	979
利息返還損失引当金	2,211	2,527	316
引当金合計	6,307	7,602	1,295

PL繰入額

(金額: 百万円/Millions of yen)



		2008/02	2009/02	前期比増減額
貸倒損失繰入	引当金	1,392	979	-413
	償却額	1,627	2,410	783
利息返還損失繰入	引当金	542	316	-226
	償却額	814	1,231	417
合計	引当金	1,934	1,295	-639
	償却額	2,441	3,641	1,200

1 1. 資金調達

資金調達の安定化を図るため、長期調達比率を高める。
期中より、債権流動化を短期から長期に変更。
期末時点の長期調達比率は83.83%。
平均調達金利は、1.46%。

(金額：百万円/Millions of yen)

	前期末	当期末	増減
短期借入金	20,690	12,190	-8,500
長期借入金	49,700	54,700	+5,000
債権流動化(短期)	1,000	-	-1,000
債権流動化(長期)	-	8,500	+8,500
長期調達比率	69.62%	83.83%	+14.21%
平均調達金利	1.30%	1.46%	+0.16%

Ⅱ 2010年2月期の取り組み

(2009年3月1日～2010年2月28日)

クレジットカード事業再生と収益構造の改革

1. カード事業（稼働率と請求単価の向上）

- 会員数 **345万人**（前期末 + 12万人）
- 取扱高（ショッピング） **3,773億円**（前期比増減率 11.0%増）
- 営業収益（ショッピング） **60億円**（前期比増減率 9.5%増）

稼働率と請求単価の向上

ロイヤルメンバー企画、ユニーグループとの連携をさらに強化した販売促進企画を展開し請求単価と稼働率の向上を図る。

ロイヤル会員を対象



ドリームプロジェクト2009

毎月異なるキャンペーンを展開し、請求単価、稼働率UPを図る。

アピタ・ピアゴ利用促進強化



ファンタジア2009

ピアゴ誕生祭連動企画



ポイント診断、新規会員特別企画で稼働率、請求単価UPを図る。

モール型店舗で展開

ウキウキWALKキャンペーン

抽選会など企画実施し、稼働率、請求単価UPを図る。



WEBショッピングモール拡大

ぽいん貯モール

会員専用ショッピングモールの取扱拡大

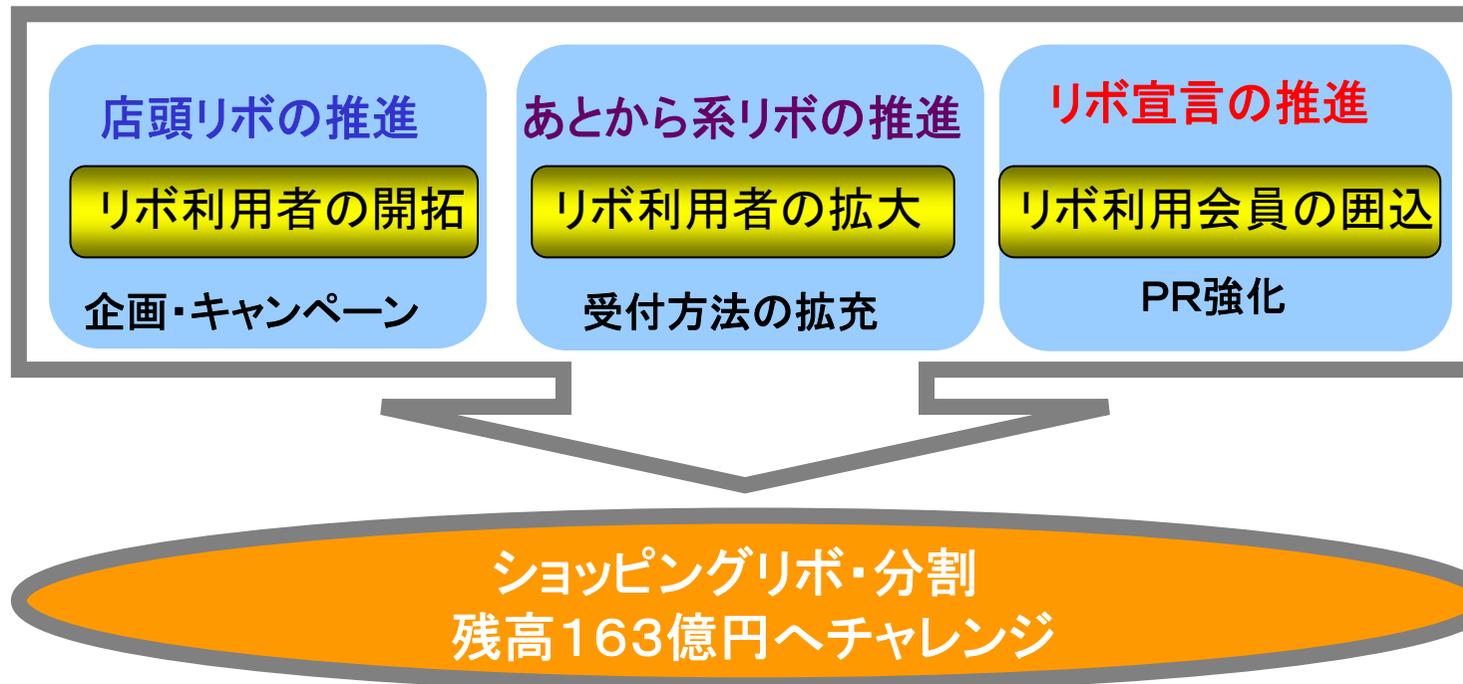


2. カード事業（ショッピングリボ・分割払いの拡大）

➤取扱高	175億円	（前期比増減率	30.0%増）
➤残高	163億円	（前期比増減率	20.9%増）
➤営業収益	20億円	（前期比増減率	15.2%増）

ショッピングリボ、分割払いの拡大

今後の収益の柱と位置づけ、新規利用会員の開拓、拡大、囲い込みを積極的に展開し残高、および収益の拡大を目指す。



3. 融資事業と貸金業法への対応

➤取扱高	441億円	(前期比増減率 7.8%減)
➤残高	415億円	(前期比増減率 5.9%減)
➤営業収益	84億円	(前期比増減率 13.5%減)

貸金業法への対応

貸金業法へのスムーズな移行を目指し、利用環境および運用の整備を確実に完了させる。

優良会員の囲い込み

既存会員のセグメントにより、優良会員への積極的なアプローチと適正な残高への移行を図る。

新規利用者の拡大

貸金業法に対応した適性と信の範囲内で、新規利用者の拡大を図る。

法施行対応

スケジュール	施行内容	システム対応
第3条施行 2009年6月迄に施行	指定信用情報機関制度	09年6月までにシステム開発完了
	貸金業務取扱主任者制度	08年12月より研修開始
第4条施行 2010年6月迄に施行	総量規制	09年12月までにシステム開発完了
	上限金利の引下げ	システム対応済み

4. その他事業の重点項目

➤ 保険事業営業収益 **10.5億円** (前期比増減率 5.5%増)

➤ 会員サービス事業営業収益 **5.1億円** (前期比増減率29.9%増)

保険事業

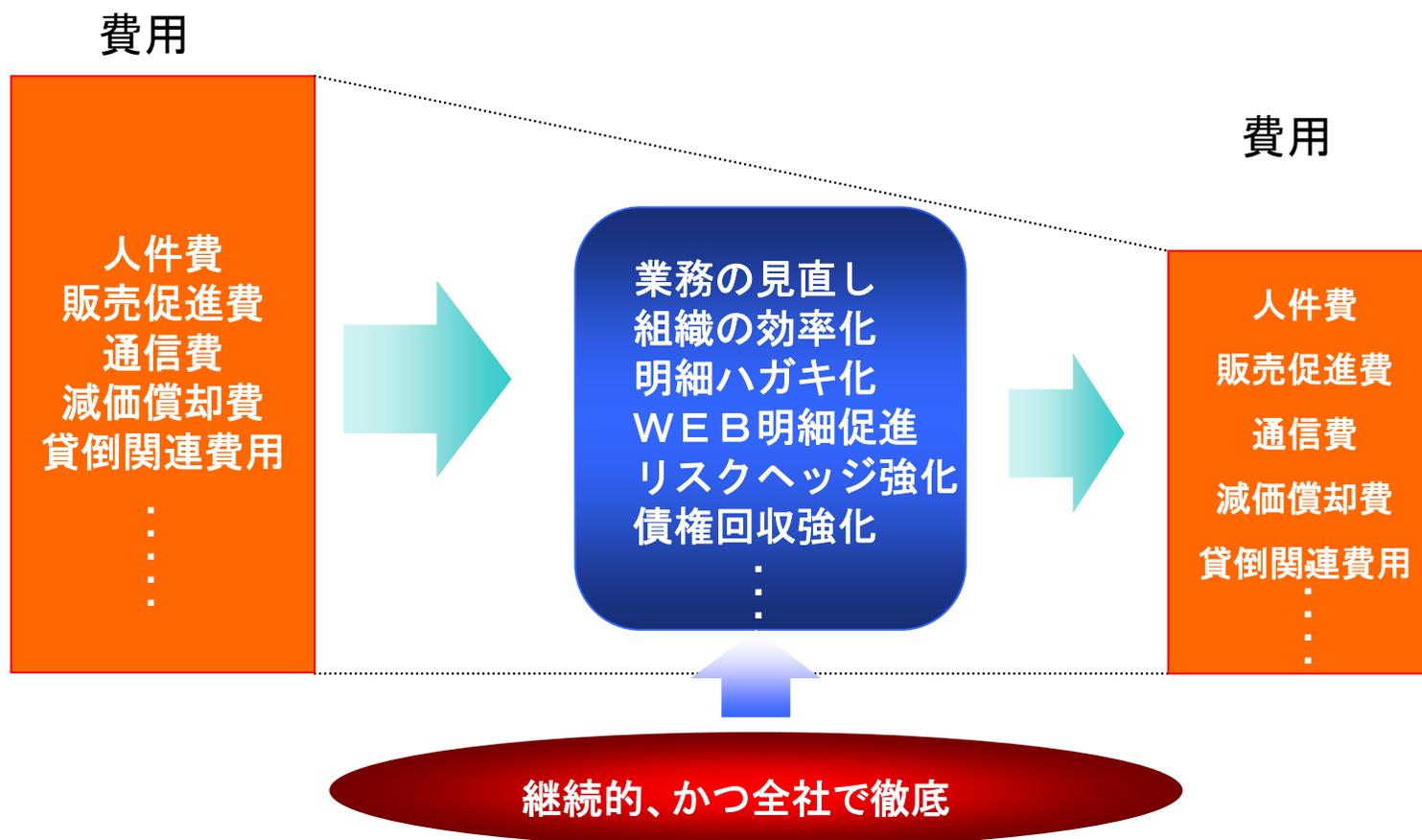
- ◆ 特級代理店への格上げ実現し、手数料率の維持を図る。
- ◆ ユニーグループ従業員へのアプローチを強化する。
- ◆ リーフウォーク稲沢、ラザウォーク双葉の保険ショップの成功を目指す。

会員サービス事業

- ◆ テレマーケティングの拡大を図る。
品揃えの拡充、既存契約者へのクロスセリング等
- ◆ WEBを活用した会員サービスの充実を図る。
パッケージツアーweb予約等

5. コスト構造改革

収益に見合ったコスト構造にするべく、前年からの取組みをさらに継続的に推進し、強い経営体質を実現する。



6. 2010年2月期 業績予想

(Hundred millions of yen)

	第19期予想 2010年2月期	前期比増減率
営業収益 Operating revenues	185億円	△ 3.6%
経常利益 Ordinary income	13.5億円	△44.4%
当期純利益 Net income	8億円	△44.4%